

平成26年度第1回せんなん子ども会議を5月24日に開催しました。小中学生あわせて14名の参加でした。原則月1回、土曜日の午前中に集まって活動を行う予定です。

やってみたい活動を出し合ったところ、大きくわけて①みんなの絆が強くなるような活動、②ボランティアなど社会の役にたつような活動、③まちづくりに関係する活動、④子どもの権利の広報や啓発活動の4つの意見ができました。これから具体的に考えていきたいと思います。続いて、子ども会議のルールを話し合いました。参加した委員が来てよかった、楽しかった、意味があったと思えるためのルールです。「こどものけんり」の頭文字をとって考えるという課題のなかで、いろいろな意見ができました。ひとつに絞れなかったので次回に検討することになりました。

最後に、子どもの権利条約の学習をしました。今回は「遊ぶ」について考えました。好きな遊びは、バスケットボール、野球、サッカーなどのボール遊び、将棋、トランプ、ゲームなどの室内遊び、ふえ鬼、かくれんぼなどの鬼遊び、山登り、自転車で出掛けるなど自然とふれあう遊びなどが出ました。次に「なぜ遊ぶのだろう?」と考えたところ「楽しいから」「いつのまにか遊んでいるから」「トレーニングになるから」「いきぬぎができる



から」「ストレス解消になるから」「ごはんがおいしくなるから」「公園があるから」「やせるから」「友だちと仲良しだから」「遊んでいるから遊んでいる」「遊ぶことを知るから」などの意見が出ました。

子どもたちにとっては、遊ぶことは生活の一部であり、意識していないかもしれないけれども、その中で自主性や、協調性、想像力や挑む力などが育つものだと考えています。みんなは、おとなになるために必要な力を、勉強だけでなく遊びの中でも身に付けていること、世界には、その年齢に応じた遊びが保障されず働いている子どもがいる国もあるということを伝えました。また、子どもの権利は、ひとつひとつが独立して存在しているわけではないので、生きることも、学ぶことも、遊ぶことも大切に、それぞれの権利の意味を考えていきたいと思います。



【問合せ】 泉南市子どもの権利に関する条例事務局
(人権教育課 ☎ 483-3672 / FAX483-7306 /
e-mail:jinkenkyouiku@city.sennan.lg.jp)